

●伏見港公園

前回検証結果	継 続 ・本施設の地域における役割を踏まえ、近隣施設と連携した新たなサービス等により、より幅広い府民の利活用を図ること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	○みなとオアシスとの連携 ・令和４年度から、京都市及び地元と連携し、本公園及びその周辺において、「ふしみなーとフェスタ」を開催し、伏見の特産品の物販・飲食や、伏見の中高生による吹奏楽演奏などを提供し、公園の利用促進とともに地域の魅力を発信。 ・令和８年度から、みなとに隣接する芝生広場において、地元・地域の名産品を活かしたバーベキューの取組を検討中。 ○幅広く府民に利用してもらえる取組 ・地域住民が参加する伏見納涼盆踊りを毎年開催し、令和６年度には全国的にも珍しい「恐竜大運動会」、令和７年度は８大アレルギー不使用の「アレルギーフードフェスタ」を開催するなど、地域ニーズやトレンドを取り入れたイベントを実施。また定期的に「パークヨガ」などの取り組みも実践している。 ・令和４年度から様々な種目のプロアスリートによるスポーツ教室やスポーツ初心者向けの体験イベントを実施し、幅広い府民がスポーツに触れる機会を創出。 ・令和８年度からヨガやスポーツ、風景写真撮影などをテーマに、交流の場を提供する婚活イベントを実施予定。 ・高齢者の認知症予防などの健康づくりに寄与する取組を検討しており、スポーツ以外の取組として、令和８年度から、講師による健康マージャン教室を実施予定。
なお残る課題・問題点	◆公園施設全体の老朽化が進行し、今後維持修繕費や基幹施設の改築更新費は増加の見込み。
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□利用者数及び利用者の満足度が高く、新たな取組も行い、スポーツ以外でも地域振興に役立っている。 □府民満足度や施設価値を高める管理者であり、管理者選定の際のお手本になる。 □予防的メンテナンスや施設内部の掲示等、管理者の努力により古さを払拭しているが、施設の経年劣化が顕在化する時期であり、施設の長寿命化対策が必要。

京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎引き続き府民満足度や施設価値を高めながら、計画的な修繕など、長寿命化対策の中長期的な戦略を検討すること。 <今後の対応> ○高い利用者満足度や施設の利用水準を維持するとともに、令和8年5月に整備が概ね完了した「伏見みなと公園広場」を含め、「みなとオアシス」と連携した地域の魅力発信や賑わい創出を更に進める。 ○計画的な維持管理や更新・改修を実施し施設の長寿命化を図る。
-----------------------	--